資料1-1

環境省委託事業

令和３年度ESG コミット促進と情報開示と対話に係る委託業務

【ポートフォリオカーボン分析パイロットプログラム支援事業】

公募正式書類

# 背景

2015年のパリ協定採択以降、気候変動への取組はグローバル規模で急速に拡大し、「今世紀の世界的な平均気温の上昇を産業革命前と比べて少なくとも2℃より十分に低く保ち、理想的には1.5℃に抑える」ことが共通の長期目標となりました。我が国においても、2050年カーボンニュートラル宣言を始め、脱炭素社会の実現に向けた官民の取組が加速しています。一方で、こうした取組等を推進するためには、様々な課題が存在しています。

こうした中で、2021年6月に取りまとめられた金融庁のサステナブルファイナンスアクション有識者会議報告書においても、金融機関による投融資先の脱炭素に向けた取組の促進の重要性が指摘されているところ、その前提として、投融資先の排出量を把握・算定し、分析を行うポートフォリオカーボン分析が必要です。このため、環境省では、金融庁の協力も得て、対話・エンゲージメントを通じて脱炭素に向けた企業行動の変革を促進する金融機関の取組を支援することを目的として、情報発信及びパイロットケースの支援を行います。本パイロットケースでは、ポートフォリオカーボン分析を実際に行い、本支援事業を通じて得た知見及び成果を取りまとめた手引きを作成する予定です。つきましては本事業へ参加を希望する金融機関を以下のとおり募集します。なお、本事業に関する事務運営は、環境省から委託を受けた有限責任監査法人トーマツ（以下「トーマツ」という。）が実施します。

# 本事業の詳細

# 対象機関 脱炭素化に向けた取組を推進しており、ポートフォリオカーボン分析等を通じて、投融資先企業の脱炭素化に向けたエンゲージメント等につなげる意思があること。ポートフォリオカーボン分析に係る取組におけるその他金融機関への波及効果が期待できること。分析結果について一定の情報開示が可能な金融機関であること。

# 事業内容 本事業は、ポートフォリオカーボン分析に関するパイロット・スタディーの支援を実施します。支援方法としては、各機関との個別説明会、面談形式のカーボン分析支援、社内共同勉強会（機関の環境・CSR部門、財務部門、IR部門、リスク管理部門等関連部門および経営が参加必須）、パイロット・スタディー参加の企業共同の勉強会の開催、メール・電話等による質問事項への対応を実施します。なお、参加機関には支援に必要とされる資料の作成・提供をしていただきます。

# 「個別事前説明会」（1回） 場所：WEB上　（媒体については検討中） 日時：9月上旬（個別相談） 目的：ポートフォリオカーボン分析の概要と実施プロセスの理解

* + - ポートフォリオカーボン分析の意義の説明
    - 定性的シナリオ分析・定量分析プロセスと必要データ収集の説明
    - 支援先の取組の現状に関するヒアリング
    - 第1回面談に向けた事前準備事項（※1）の提示・説明

# 「ポートフォリオカーボン分析支援面談」（5回）

|  |  |
| --- | --- |
| 回数 | 概要 |
| 個別説明会 | * ポートフォリオカーボン分析の意義の説明 * 定性的シナリオ分析・定量分析プロセスと必要データ収集の説明 * 支援先の取組の現状に関するヒアリング  第1回面談に向けた事前準備事項の提示・説明 |
| 第1回 | * ポートフォリオのカーボン分析に係る代表的な手法の紹介 |
| 第2回 | * 参加金融機関のポートフォリオのカーボン分析結果 |
| 第3回 | * ポートフォリオのカーボン分析結果の開示 |
| 第4回 | * ポートフォリオのカーボン分析結果を活用したエンゲージメント |
| 第5回 | 高度化に向けた課題整理、ディスカッション |

# 

# 「ポートフォリオカーボン分析社内共同勉強会」（1回） 目的：金融機関の環境・CSR部門、財務部門、IR部門、リスク管理部門等関連部門および経営のポートフォリオカーボン分析の理解

# ポートフォリオカーボン分析の結果に基づくエンゲージメント方策等に関する報告

# 今後の検討、対応策および体制に関するディスカッション

# 「パイロット・スタディー参加の企業共同の勉強会」（3回） 目的：ポートフォリオカーボン分析実施機関間における成果、今後の課題・論点に関する情報の共有

# 実施機関によるプレゼンテーション

# 関係者間の質疑応答、情報交換

※1：本事業では、ポートフォリオカーボン分析を通じてポートフォリオのカーボンリスクを把握し、投融資先との建設的な対話・エンゲージメントにつなげることを目的としています。よって「●応募条件」で記載のある情報に関し事前準備を依頼することになります。なお、支援については、金融機関が事前準備する情報に基づき実施することから、支援先ごとに支援内容が異なる可能性があります。また、モデル事業であることから分析対象セクターを一定数に限定する場合があります。

# 応募条件

1．トーマツが実施する支援の範囲は、「2.本事業の詳細」の「事業内容」に示すとおりであり、参加金融機関は、支援に必要とされる資料の作成、当該情報を分析作業開始前に事前に準備・提供を行うこと。（ただし、場合によってはこれに限らずに提供を依頼する可能性がある。）

|  |
| --- |
| ＜必要情報＞ 投融資先のCO2排出量（スコープ1，2）投融資先の売上高、利益情報  * + - 投融資先のCDP回答（入手可能な場合） |

2．本事業はあくまでパイロットプログラムであり、対象セクター・対象アセットクラスをサンプルとして分析するとの趣旨を理解いただけること。

# 3．参加金融機関が使用しているデータ、モデルを必要に応じて参照できること。

# 4．本件の担当者を選出できる機関であること。

# 5．5回程度のテレビ会議等での面談打ち合わせ・１回のポートフォリオカーボン分析社内共同勉強会・3回のパイロット・スタディー参加の企業共同の勉強会への参加が可能なこと。

# 6．本事業によって得られた成果を報告書に記載し、環境省WEBサイトへの掲載が可能であること。また、本事業の成果を踏まえたポートフォリオカーボン分析の結果に関する一定の情報を他の金融機関に提供可能なこと。

# 採択基準

# 応募条件を満たしている機関のうち、気候変動関連の影響や、気候変動問題を含めたESGに係る取組への積極性、企業規模の異なる様々な国内金融機関への波及効果、ガバナンス体制等を総合的に考慮し、支援対象機関を採択いたします。

# 支援スケジュール

　　支援スケジュールは9月上旬開始～2月中旬終了であり、参加機関と調整のうえ検討いたします。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 個別説明会 |  |  |  |  |  |  |  |
| 支援面談（第1回） |  |  |  |  |  |  |  |
| 支援面談（第2回） |  |  |  |  |  |  |  |
| 支援面談（第3回） |  |  |  |  |  |  |  |
| 支援面談（第4回） |  |  |  |  |  |  |  |
| 支援面談（第5回） |  |  |  |  |  |  |  |
| 社内共同勉強会 |  |  |  |  |  |  |  |
| 参加企業共同の勉強会 |  |  |  |  |  |  |  |
| 手引き取りまとめ |  |  |  |  |  |  |  |

1. 募集期間  
   　令和3年8月6日（金）～8月27日（金）

# 応募手続きおよび参加機関の採択について

## （１）応募手続き

応募を希望する機関は、「応募申請書（資料1-2参照）」に必要事項を記載し、提出期限までにトーマツへ電子メールにてご提出ください。提出された応募申請書は本事業の採択に関する審査以外の目的には使用しません。なお、郵送での応募申請書提出は受け付けておりません。

## （２）応募申請書の提出方法 応募申請書提出先：

　E-Mail：mamoru.otsubo@tohmatsu.co.jp, shotaro.yabuki@tohmatsu.co.jp

　有限責任監査法人トーマツ　大坪、矢吹宛

「応募申請書（資料1-2参照）」の①Wordファイル、②PDFファイルの2種類を添付して、

mamoru.otsubo@tohmatsu.co.jp, [shotaro.yabuki@tohmatsu.co.jpの2](mailto:shotaro.yabuki@tohmatsu.co.jpの2)先にお送りください。

なお、メールの件名は下記のとおりご記載ください。

【金融機関向けポートフォリオカーボン分析パイロットプログラム支援事業応募申請】　応募機関名

# **免責事項**

## 本事業はトーマツが実施する。

## 本事業に関する参加機関の交通費等は、参加機関が負担すること。

## 支援面談は原則テレビ電話会議を想定している。但し、状況によっては、トーマツ（東京都千代田区丸の内3-2-3丸の内二重橋ビルディング）で実施することも可能である。

## 説明会および支援面談の資料の著作権は環境省およびトーマツに属し、参加機関は非独占的使用権を許諾されるものとする（複製、改変に関しては自己利用のみ可能）。 なお、実施結果の公開に関する著作権については、参加機関に属するものとする。

## 本事業において、環境省およびトーマツに提供された機関情報および個人情報については、本委託事業の遂行に必要とされる範囲に限り、環境省およびトーマツが使用することに同意すること。

## 本事業に著しい支障を与えると判断される場合においては、本支援を中止する場合がある。

## 参加機関は、参加機関の役員等が、暴力団又は暴力団員でないこと、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていないこと、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していないこと、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していないことについて、確約したものとする。万一、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになった場合は、支援を中止する。

# **お問合せ先**　 有限責任監査法人トーマツ

# 金融機関向けポートフォリオカーボン分析パイロットプログラム支援事業

# 支援事務局　（大坪、矢吹） ＊ご質問はメールにてお願いいたします。 E-Mail：mamoru.otsubo@tohmatsu.co.jp, shotaro.yabuki@tohmatsu.co.jp

**上記2先にお送りください。**

# **よくある質問**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| # | 質問 | 回答 |
| 1 | 採択結果はいつ頃判明しますか | 8月末～9月上旬を予定しております |
| 2 | 支援面談に参加が最低限必要なのは、どの部署の担当者ですか | ポートフォリオカーボン分析、投融資先とのエンゲージメント等を今後推進する部署の方がありがたく存じます |
| 3 | 本支援結果を、来年度のサスティナビリティ報告書に掲載するためのアドバイスはもらえますか | ポートフォリオカーボン分析の開示事例について、支援面談にてご紹介します |
| 4 | 経営陣の参加必須とありますが、役員のクラスは問われますか | 経営陣であれば問題ございません |
| 5 | 実施場所は、自社に来てもらえるのですか | 都内なら訪問可能です。なお社会情勢により都内においてもテレビ会議での実施になる可能性があります。 |
| 6 | 支援事業委託の費用はかかりますか | 本支援は無料です |
| 7 | 参加機関は、トーマツや環境省と機密保持契約などを締結することになりますか | 要望・情報に応じて締結致します |
| 8 | 参加した社名は公表されますか | 環境省HPにて、採択機関として公開されます |
| 9 | 応募の具体的な手順はどうなっていますか | 本資料（公募正式書類）をご確認のうえ、「資料1-2 申請書」にご記載いただき、メールでご連絡いただければと存じます |
| 10 | 応募機関名や、申請書の内容は公開されるのでしょうか | 非公開の予定でございます |
| 11 | 応募を辞退することは可能ですか | 公募期間内であれば、事務局までご連絡いただきご辞退可能でございます  採択結果が環境省HPに掲載されますので、採択決定後のご辞退はご遠慮ください |